

陸 上

設立年月：昭和33年
加賀市制とともに設立

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

長い歴史を持つ加賀市陸協は、これまで各種の大会運営や競技者の育成に活躍してきた。特に加賀市陸上競技場ができてからは、全国的に優秀な選手も出るようになった。しかし、最近は競技者減少のため全国的レベルも下降している。その点で今後は、指導体制を見直し、小・中・高の連携の中で競技者の拡大や向上に務めたい。

■ 沿革（協会のあゆみ）

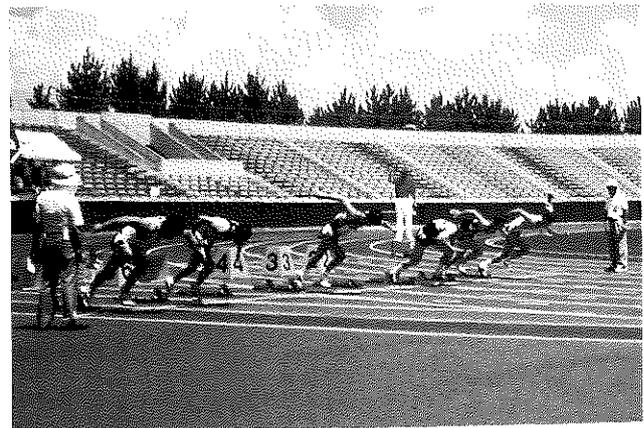
昭和23年江沼陸協が設立、昭和33年加賀市制になり、加賀市陸上競技協会を結成し、現在に至っている。昭和23年、第1回江沼郡1周駅伝が開催され、現在は加賀市駅伝となり53回を数えている最も伝統のある大会となっている。また昭和51年から健勝マラソン、昭和57年から加賀女子駅伝、昭和63年から加賀市選手権と多くの大会が開催されている。

〈現在の組織〉

会 長	向 出 勉	理 事 長	嶋 中 英 治	副理事長	宮 下 敏 郎	記録部長	三 国 昌 平
副 会 長	河 崎 初 雄	副理事長	北 沢 陸 夫	副理事長	藤 乃 井 哲 也		
副 会 長		事務局長	中 村 友 治	審判部長	山 下 修 平		
副 会 長		会 計	西 田 典 生	強化部長	坂 口 順 一		

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成元年8月	第43回県民体育大会	加賀市 男子	優 勝	
平成元年8月	第43回県民体育大会	加賀市 女子	優 勝	
平成2年8月	第44回県民体育大会	加賀市 女子	優 勝	
平成11年8月	第51回県民体育大会	加賀市 男子	3 位	



水 泳

設立年月：昭和43年4月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

平成2年より会長を務められた辻治重氏が同11年より石川県水泳協会会長に就任された。10年間の会長期間中、石川県国体では加賀市より監督・コーチ3名、選手4名が県代表として活躍し、同7年同市で開催された県民体育大会では男女共総合優勝の快挙を達成し同11年には東和中学校チームが全国中学校大会400mメドレーリレーで優勝と輝かしい10年間だった。H12年度より竹下剛氏を新会長に迎え、会員一同新たな飛躍発展に向けスタートしていきたいと思っている。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和41年組織として山代スイミングが発足し、その2年後動橋を中心に東和スイミングクラブが発足。目的は小中学生の選手育成が主であったが、この二つのスイミングクラブの指導者が中心となり昭和43年4月加賀市水泳協会が創立し同時に体育協会にも加盟した。初代会長に故・吉田豊彦氏が就任し、61年より2代会長に岡田景俊氏が就任、平成2年には3代会長に辻治重氏就任、平成12年4代会長に竹下剛氏が就任され現在にいたる。

〈現在の組織〉

会 長	竹 下 剛	副 会 長	宮 永 巖	名誉会長	辻 治 重 (県水泳協会会長)		
副 会 長	田 原 広	理 事 長	小 森 勇	相 談 役	橋 本 秀二 郎		
副 会 長	田 端 孝三 郎	副 理 事 長	寺 西 稔	会 計	横 谷 智 久		
副 会 長	寺 井 清 正	事 務 局 長	室 岡 隆 之				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ー ム 名 (個 人 名)	成 績	備 考
1 9 8 0 年	モスクワオリンピック	樺 谷 博	平 泳	ボイコットの為不参加
平成5年9月	国 民 体 育 大 会	中 田 栄 進	50m背泳 5位	
平成7年8月	県 民 体 育 大 会	加 賀 市	男女共 優勝	
平成11年8月	全 国 中 学 校 大 会	東和中学校チーム	400mメドレーリレー 優勝	

その他の特記事項

山代中学校が昭和45年から6年連続男女総合優勝。東和中学校が昭和59年北信越中学校大会男子総合優勝。



野 球

設立年月：昭和21年 江沼郡野球協会
昭和33年 加賀市野球協会

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

体育協会設立40周年おめでとうございます。当初は加盟競技協会12団体で発足し、我が野球協会もその中の一つとして今日まで40年の永きにわたり、最多の会員数を誇り、会員一同一致団結し、市のスポーツの振興・発展に寄与してきたものと自負しております。更には、後継者の育成に一早く手掛け、昭和51年には市の少年スポーツ教室の草分けとして、少年野球教室を開設、以来数多くの選手を育成し現在に引き継がれております。今後、中央公園野球場など、市内各施設を十二分に活用し、競技力の向上と7万市民の健康づくりに少しでも役に立てるよう邁進する所存であります。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和33年加賀市となり初代会長 井上陽一理事長小西敏雄から平成3年会長川下勉副会長 能口進理事長吉田光而にバトンタッチされ加盟チーム16その間全国大会の昭和56年電々加賀チーム、昭和57年新生会クラブ、平成1年学童山代クラブ、平成7年学童加賀クラブが出場している。平成4年中央公園野球場完成に伴い加賀市長名誉会長として北陸大学野球リーダーを誘致し今後のレベルアップを願っています。

〈現在の組織〉

会 長	川 下 勉	理 事 長	吉 田 光 而	審判部長	市 野 昭 夫		
副 会 長	能 口 進	副理事長	南 日出臣	副理事長	北 出 邦 男		
副 会 長		事務局長	敷地屋 雅 夫	副理事長	谷 口 義 則		
副 会 長		会 計	小茂出 健				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
昭 和 5 6 年	高 松 宮 盃 2 部	電 々 加 賀	各県大会 優勝	全 国 大 会 へ
昭 和 5 7 年	東 日 大 会	新 生 会 ク ラ ブ	各県大会 優勝	全 国 大 会 へ
平 成 1 年	ス ポ - ツ 少 年 団	山 代 ク ラ ブ	各県大会 優勝	北 信 越 大 会
平 成 6 年	ス ポ - ツ 少 年 団	加 賀 ク ラ ブ	各県大会 優勝	全 国 大 会



バレーボール

設立年月：昭和33年1月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

バレーボールを通じ、小学生からの生涯スポーツの位置づけとして日々、技術の向上、又他のグループと親睦、交流をはかる。小学生には楽しいバレーを、学生には技術の上達を、又一般の人々には長く続けられるよう普及指導を行っていく。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和33年1月 設立

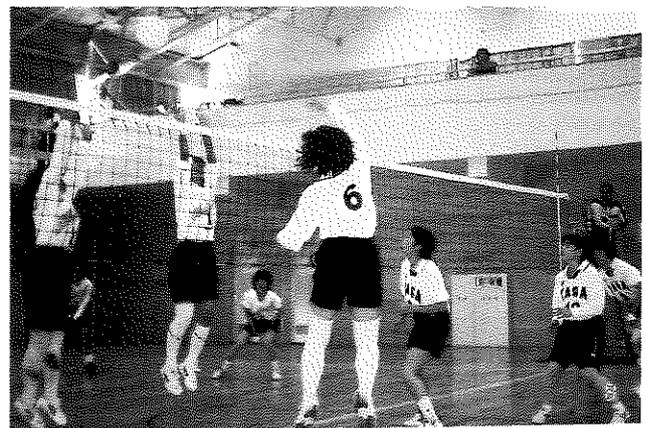
昭和63年4月 加賀江沼家庭婦人バレーボール連盟が加入

〈現在の組織〉

会 長	向 出 勉	理 事 長	小餅谷 幸 博	副理事長	山 崎 稔	顧 問	中巳出 眞
副会長	小 野 俊 光	副理事長	浜 野 邦 彦	副理事長	中 谷 定 和	顧 問	北 出 芳 治
副会長	球 佐智子	事務局長	寺 田 正 夫	副理事長	沖 野 武 和	相 談 役	呉 藤 満 次
副会長		会 計	東 野 拓 也	会 計	中 道 哲 朗	相 談 役	久保出 敬 治

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ーム名(個人名)	成 績	備 考
平成7年、11年	全日本9人制クラブカップ選手権大会県予選会	東和バレーボールクラブ・男子	予選リーグ通過、1回戦敗退	
平成 9 年	全日本9人制クラブカップ選手権大会県予選会	東和バレーボールクラブ・男子	予選リーグ通過、1回戦敗退	
平成 1 1 年	全国いそじ大会県予選会	作見ユニオンズ・女子	全国大会ブロック別第3位	
平成 1 1 年	全日本9人制総合選手権大会予選会	東和バレーボールクラブ・男子	予選リーグ通過、2回戦敗退	



バスケットボール

設立年月：昭和22年

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀市体育協会設立40周年おめでとうございます。バスケットボールが好きな有志が集い、練習に汗を流し、手作りの競技大会を運営してきました。今後も子供から生涯にわたって、バスケットボールに関わり、楽しむ仲間を増やすために、バスケットボール競技の振興・底辺の拡大に努めて行きたいと思います。

■ 沿革（協会のあゆみ）

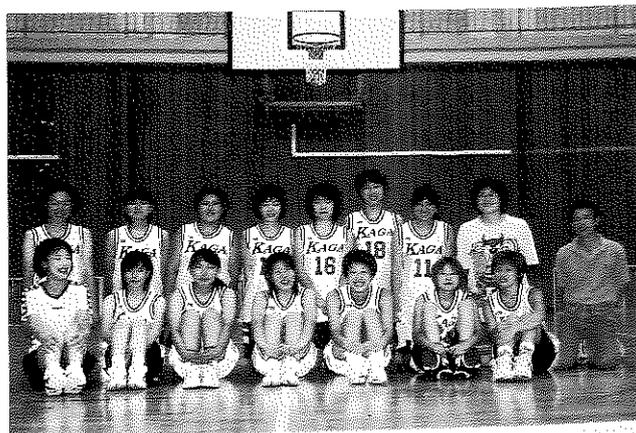
昭和22年、中曽根治郎氏を会長に江沼郡籠球協会設立。愛好者達はクラブを設立し、盛んに活動をした。加賀クラブを中心とし、各種大会で輝かしい軌跡を残した。現在は、北陸加賀ミニカップ大会、中学校会長杯争奪春季・秋季リーグ大会、各種大会レフリー派遣等、年間を通してバスケットボール競技の振興につくしている。

〈現在の組織〉

会長	天日 喜代治	副会長	清水屋 眞二	顧問	房野 久吾	常任理事	高木 敏行
副会長	滝口 誠久	理事長	佐々木 和彦	顧問	中川 五十一	常任理事	山本 哉恵
副会長	花市 誠	副理事長	中村 亮司	常任理事	荒内 幸治	事務局長	中筋 和子
副会長	網谷 豊	副理事長	山下 悟	常任理事	亀田 浩一	事務局	清水 まなみ

〈過去における大会成績〉

年月	大会名	チーム名(個人名)	成績	備考
平成4年	石川県民体育大会	女子チーム	2位	
平成8年	石川県民体育大会	男子チーム	2位	
平成11年3月	全国ミニバスケットボール大会	加賀ミニバスケットボールクラブ	優勝	
平成12年3月	全国ミニバスケットボール大会	加賀ミニバスケットボールクラブ	3位	



ソフトテニス

設立年月：昭和22年

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことば

加賀市体育協会創立40周年に対して心よりお慶び申し上げます。スポーツは、勝利を目指す競技者の充実感にとどまらず、広く市民の心身の健康、地域社会の活性化等、その効果は計り知れないものがあります。それぞれのスポーツ団体のとりまとめとして、ますますその使命と役割の重大性は高まります。今後とも一層の発展を祈念いたします。

■ 沿革(協会のあゆみ)

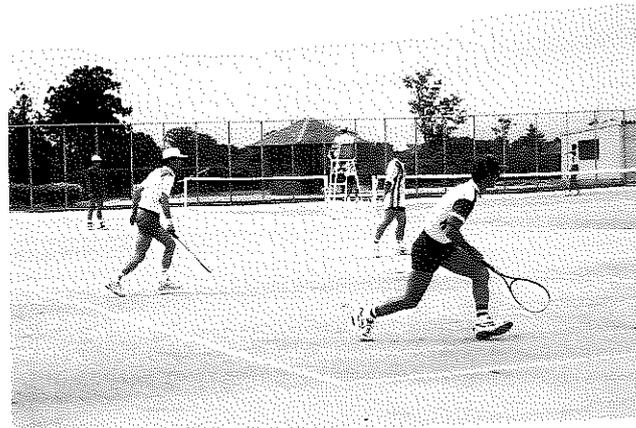
昭和22年江沼郡軟式庭球協会設立。愛好者達は各々クラブを創立し、切磋琢磨・交流が輝かしい足跡を残している。国民体育大会第2回より出場し各選手が活躍し、西谷久喜は協会を支え北国風雪賞を受賞。更に少年テニス教室、ライオンズクラブの後援を受け、様々な大会を主催する等テニスの普及と発展に貢献すべく総力を挙げて取り組んでいる。

〈現在の組織〉

会 長	新 家 廣	理 事 長	中 川 康 夫	顧 問	西 出 正 治		
副 会 長	吉 田 泰 一 郎	副 理 事 長	小 田 親 幸				
副 会 長		事 務 局 長	吉 本 庄 司				
副 会 長		会 計	山 田 健 一				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ャ ム 名 (個 人 名)	成 績	備 考
昭和61・62・63年	北 信 越 大 会	吉 田 ・ 新 家 組	3 連 覇	
平 成 3 年	北信越ソフトテニス選手権	島 田 ・ 辰 川 組	準 優 勝	一 般 男 子 の 部
平 成 9 年	北信越ソフトテニス選手権	升 田 ・ 山 田 健 組	準 優 勝	成 年 男 子 の 部
平 成 1 0 年	県 民 体 育 大 会	加 賀 市 (男 女)	準 優 勝	ア ベ ッ ク 2 位



卓球

設立年月：昭和35年

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

私が現役選手だった30年前、会長を引き受けた20数年前の事を思うと今は、協会の組織も競技人口もそして、技術レベルも随分良くなったと思います。これからも卓球人気に奢ることなく協会発展の為に精進したいと思います。

■ 沿革（協会のおゆみ）

昭和35年に市体育協会に加盟。昭和38年県民体育大会で男子代表チームが優勝。平成8年女子チームが優勝、男子チームが準優勝と大きく活躍。通常活動として昭和48年より加賀体育館で火・木・土の週3回練習。

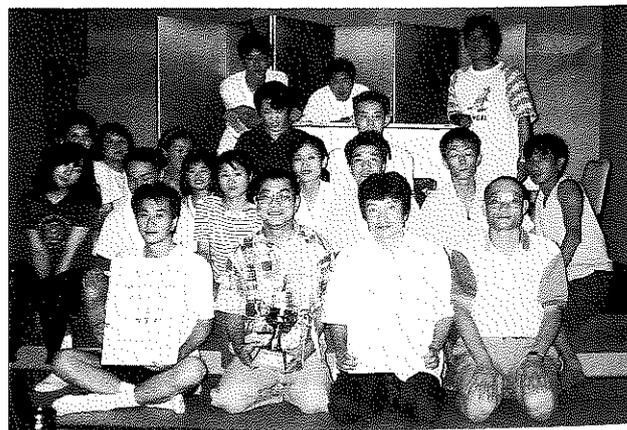
昭和49年より市選手権大会を春・秋2回開催。昭和51年加賀・江沼中学選手権大会を開催し始め中学生の競技力アップを計る。小学生から社会人まで人との交流、和をもって競技力向上と普及に寄与していく所存です。

〈現在の組織〉

会 長	西 野 一 郎	理 事 長	北 村 広 海	顧 問	下 口 進	女子主将	広 海 初 美
副 会 長	辻 正 勝	副 理 事 長		男子監督	曾 山 昌 吾	少年教室指導員	紋 谷 友 幸
副 会 長		事 務 局 長	北 村 広 海	女子監督	深 尾 和 男		
副 会 長		会 計	木 谷 正 巳	男子主将	戸 莉 治 美		

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ー ム 名 (個 人 名)	成 績	備 考
昭 和 3 8 年	県 民 体 育 大 会	加 賀 市 男 子 チ ー ム	優 勝	
昭 和 5 0 年	県 選 手 権 大 会	深 尾 克 己	優 勝	ベ テ ラ ン の 部
平 成 8 年	県 民 体 育 大 会	加 賀 市 女 子 チ ー ム	優 勝	同 年 男 子 チ ー ム 準 優 勝
平 成 1 0 年	県 軟 式 選 手 権 大 会	野 村 幸 正	ダ ブ ル ス 優 勝	シ ン グ ル ス 準 優 勝



相

撲

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことば

当相撲連盟は石川県内において近年注目を集める土地柄となってきた。県民大会で金沢市チームに勝利し、国体選手、中学・高校の優秀選手の輩出など、「相撲は能登」と思われてきた中、「加賀市相撲連盟」は順調に強化、育成に成果が現れてきている。今後も相撲人口拡大と青少年育成に力を入れ、より発展する様、努力して行きたい。

■ 沿革(協会のあゆみ)

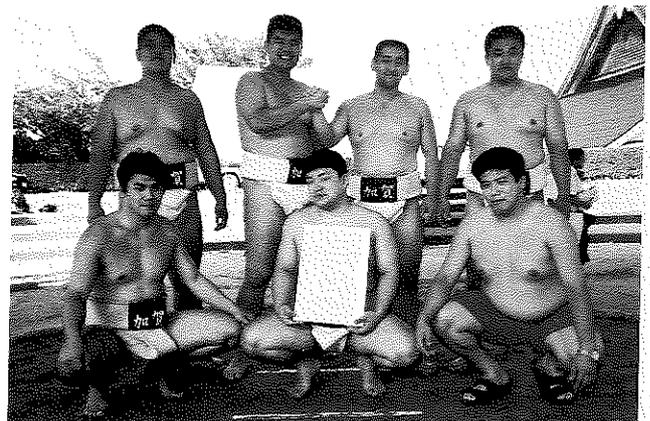
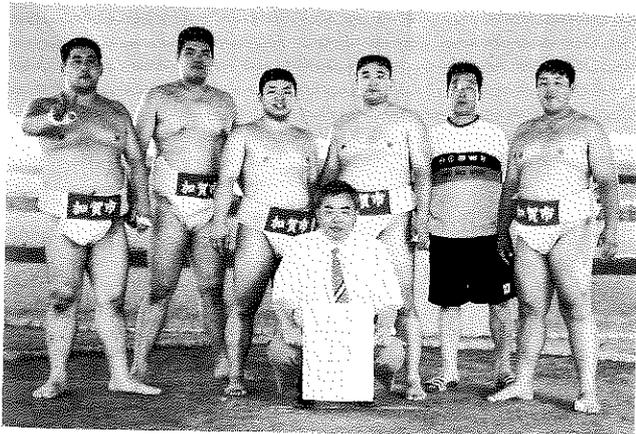
第7回石川県民体育大会(S30年)より出場、組織され、第44回大会(H4年)に第3位に入賞、その後45回大会(3位)46回大会(2位)47回大会(2位)、そして48回大会に初優勝をはたし続く49回大会(優勝)51回大会(優勝)し、県内でも優勝チームとして知られる。又、小学生大会等選手育成に取り組み、中学・高校・社会人に多くの優秀選手を生み出した。

〈現在の組織〉

会 長	池 本 和 彦	理 事 長	長 井 雅 之				
副 会 長	小 川 茂	副 理 事 長	西 野 渡	副 理 事 長	川 崎 孝 太 郎		
副 会 長	米 山 吉 昭	事 務 局 長	浅 田 勝 大				
副 会 長		会 計	浅 田 勝 大				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チー ム 名(個人名)	成 績	備 考
平成8年8月	石 川 県 民 大 会	加 賀 市	団 体 優 勝	
平成9年8月	石 川 県 民 大 会	加 賀 市	団 体 優 勝	
平成11年8月	石 川 県 民 大 会	加 賀 市	団 体 優 勝	
平成11年9月	第38回全日本青年選手権	東 出 祥 史	個 人 優 勝	



体 操

設立年月：昭和46年4月 設立

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことは

昭和46年設立以来29年間、体操を愛する者の熱き思いと団結が、少年体操教室の継続と、県体での好成績を続ける事ができた原動力である。近年、少子化の中で、中高年の選手層が薄く、また中学・高校の部活動存続の問題も出ている。時代の流れの中で先を見通し、底辺の拡大と普及に力を入れたい。

■ 沿革(協会のおゆみ)

昭和46年4月体操協会設立、初代阿部敬三会長、西山英二理事長、昭和48年4月少年体操トランポリン教室開講から現在に至る。(28年間)昭和50年より二代目矢田松太郎会長、三代目向出勉会長、後出篤二理事長、平成12年向出勉会長、宝栄稔理事長。

〈現在の組織〉

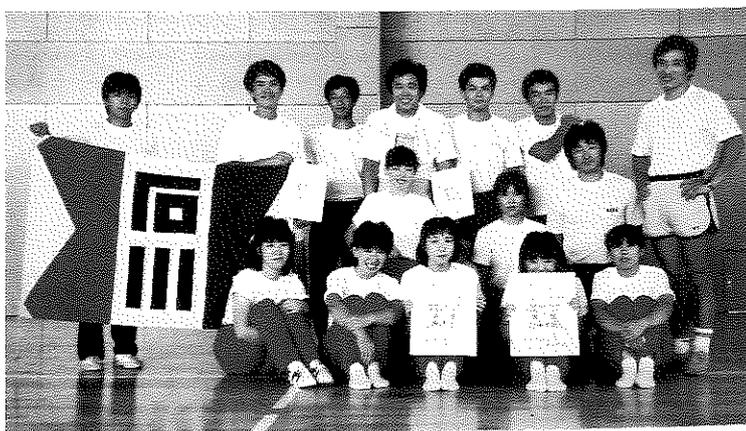
会 長	向 出 勉	副会長	後 出 篤 二	会 計	吉 田 利 治		
副会長	西 山 英 二	理 事 長	宝 栄 稔				
副会長	西 村 政 信	副理事長	吉 田 利 治				
副会長	葭 谷 勇	事務局長	都 治 正 人				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
昭和63年以前に	一 般 県 体	男 子	優 勝 2 回	
	一 般 県 体	女 子	優 勝 1 回	
平 成 6 年	県 体	男 子	優 勝	
平 成 7 年	県 体	男 子	優 勝	

その他の特記事項

少年体操教室が中学にもつながり、平成に入り中学県体において、毎年の様に優勝を続け、平成11年には山代中学校が男女共総合優勝の快挙をなした。



バドミントン

設立年月：昭和34年4月1日

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀市体育協会が設立40周年を迎え、益々発展されていることを心からお祝い申し上げます。私どもバドミントン協会も一構成員として、できるかぎりの努力を惜しまないつもりでおりますので、今後とも指導のほどよろしくお願い致します。

■ 沿革（協会のあゆみ）

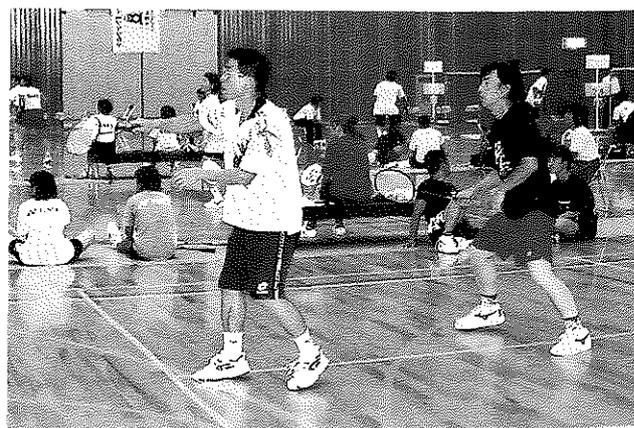
昭和25年4月1日に設立された江沼郡バドミントン協会として発足。昭和35年加賀市体育協会設立と同時に加盟。昭和40年代には大聖寺高校が輝かしい成績を収め、全日本教職員の優勝者、長谷川進氏や全日本選手権を7度制覇した銭谷欣治氏などを輩出した。昭和50年代以降成績の低迷がつづいてきたが、ジュニア育成が着実に実を結び、一昨年に小学校5年生日本一となった浜中麻垂子をはじめ将来性豊かな人材が育っている。

〈現在の組織〉

会 長	宮 元 陸	理 事 長	駒 谷 憲 治	事務局長	大 田 俊 介		
副 会 長	神 谷 民 男	副 理 事 長	南 河 武 志	会 計	中 村 準 一		
副 会 長		副 理 事 長	下 出 健 二				
副 会 長							

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
昭和45年8月	全国高校選手権大会	銭 谷 欣 治	第 2 位	
昭 和 4 8 年	全国高校選手権大会	銭 谷 欣 治	優 勝	
昭 和 4 9 年	全日本総合選手権大会	銭 谷 欣 治	優 勝	以降57年にかけて7回優勝
平成11年12月	全国小学校選手権大会	浜 中 麻 垂 子	5年の部 優勝	



柔道

設立年月：昭和24年4月1日 大聖寺柔道同好会
昭和33年1月1日 市柔道協会設立

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

昭和24年春以来、自己鍛練、青少年の健全育成、柔道人口の底辺拡大を願って活動を続けてきたが、体育協会設立40周年を迎えるにあたり、さらに青少年の健全育成に力を入れ、全国大会出場、全日本少年武道（柔道）錬成大会でのブロック優勝を目標に活動を展開したい。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和24年大聖寺柔道同好会結成、同年第1回県柔道選手権大会にて優勝する。昭和33年、加賀市政に伴い、市柔道協会設立、木谷庄八6段、幸山彰一7段、中田正孝6段らの国体選手を輩出する。現在、約50名の会員が集い、県体参加、市体運営、加賀聖武館少年柔道教室の運営、指導に尽力している。

〈現在の組織〉

会 長	齊 官 邦 夫	理 事 長	高 田 大 樹	会 計	石 川 雅 義		
副 会 長	菅 野 常 雄	副 理 事 長	中 野 武 男				
副 会 長	高 野 善 誠	副 理 事 長	中 田 正 孝				
副 会 長		事 務 局 長	中 田 正 孝				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
昭和44年5月	北信越学生優勝大会	中 田 正 孝	優 勝	連 続 優 勝
昭和63年8月	全日本少年武道(柔道)錬成大会	加賀武館 少年柔道教室	ブロック優勝(優秀賞)	
平成2年8月	全日本少年武道(柔道)錬成大会	加賀武館 高学年	ブロック準優勝(優良賞)	
平成2年8月	全日本少年武道(柔道)錬成大会	加賀武館 低学年	ブロック準優勝(優良賞)	



剣道

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことば

当連盟は範士七段、教士七段をはじめ高段者が多く、県内でもレベルの高い連盟である。また少年剣道教室も輝かしい歴史を持ち、かつてのOBが熱心に指導にあたるようになり、層も厚くなっている。今後は、県優勝を重ねられるよう努力する。また中学校の部活が続けられるよう教育委員会に熱望する。

■ 沿革(協会のあゆみ)

加・江剣道連盟より、昭和48年4月に加賀市剣道連盟と山中町剣道協会とに分かれ、現在に至る。

〈現在の組織〉

会長	下口 進	理事長	米山 博	副理事長	岩崎 康之	副理事長	高 誠逸郎
副会長	小西 富男	副理事長	尾崎 正				
副会長		事務局長	中川 昇一				
副会長		会 計	岩崎 康之				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
昭和62年2月	中部日本剣道大会	加 賀 市	準 優 勝	
昭和63年8月	県民体育大会	加 賀 市	優 勝	
平成3年9月	全日本選手権予選	畠 洋 介	優 勝	



弓道

設立年月：昭和38年4月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

生涯スポーツとし、老若男女を問わず自分に合った練習方法で取り組めることわずか数10秒の間で、肉体の鍛練と精神の修練を繰り返せるという特異なスポーツとして自我を磨くことや、神道・仏教・儒教等の教えを古来から受け継ぎ、将来に託す日本武道としての素晴らしさを実感実践できること。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和31年発足の「聖弦会」（大聖寺高校OB会）を昭和38年4月に「加賀市弓道協会」と改組する昭和54年3月全国にも稀な全天候型の室内弓道場が完成し、県内各種大会や全国大会での入賞、国体選手を数多く輩出してきました。又弓道のみならず、会員相互の親交を深める為のバーベキュー大会や新発田市弓道連盟との交流射会を例年行事として行っています。

〈現在の組織〉

会 長	山 崎 外茂治	理 事 長	木 下 外 治				
副 会 長	蓮 井 隆	副 理 事 長	大 岩 利 彦				
副 会 長	浜 坂 亥健雄	事 務 局 長	杉 村 雅 子				
副 会 長	松 田 義 一	会 計	森 山 光 雄				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成3年10月	石川国体弓道競技	成 年 女 子	総 合 8 位	杉 村 雅 子
平成9年1月	京都三十三間堂大 全国大会	三 段 以 上 の 部	優 勝	小 西 稚 嘉
平成9年5月	全日本弓道大会	教 士 の 部	準 優 勝	山 崎 外 茂 治
平成12年4月	全日本女子弓道大会(中日本の部)	三・四 段 の 部	9 位	大 杉 寛 子

その他の特記事項

中断されていた人や、初心者向の弓道教室を随時行っています。興味のある方は、ぜひ体験してみてください。



ソフトボール

設立年月：昭和44年

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のこたば

加賀市体育協会設立40周年を迎え、心からお祝い申し上げます。さて当協会では3月に審判員及び指導者講習会、4月会長旗協会結成大会を行い、5月から9月までナイターリーグ戦、また8月は秋季トーナメント戦、9月に市選手権、10月はラストトーナメント大会などを行っており、青少年の健全育成や女性のスポーツ振興の一助となれればと願っております。

■ 沿革（協会のあゆみ）

加賀市ソフトボール協会は今年で31年目を迎え、登録チームが昭和50年代には40チーム以上あったが、現在は男子が6チーム・女子が4チームと減少しています。ただし女子チームが県大会等で活躍しているのが心強いところです。

今後は選手の強化とチーム数の増加を目指し、努力してまいりたいと考えています。

〈現在の組織〉

会 長	菊 知 龍 雄	理 事 長	小 中 誠 三	会 計	小 坂 美 代 子		
副 会 長	吉 江 外 代 夫	副 理 事 長	野 村 喜 市				
副 会 長	久 藤 妙 子	事 務 局 長	山 田 英 一				
副 会 長		事 務 局 次 長	中 村 隆 泰				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ャ ム 名 (個 人 名)	成 績	備 考
平成10年6月	県大会(北信越エルダー)	H M C	優 勝	



サッカー

設立年月：昭和48年9月1日

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

体協創立40周年おめでとうございます。当サッカー協会は1973年に創立、本年で28年目を迎えております。当初は競技人口も少なく、マイナーな感じは否めませんでした。年毎にサッカー人気も大きくなり、Jリーグの発足もあって現在では小学生から社会人まで15チーム約600名のプレーヤーを抱えるになりました。2年後には日本でワールドカップも開催されますのでこれを弾みに3年後の創立30周年に向けてサッカー協会一丸となって頑張っていきたいと思っております。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和48年9月1日久藤豊治会長の下に加賀市蹴球協会として結成。高校3チーム社会人チーム1チームの計4チームの発足も現在では、少年3チーム中学2チーム高校3チーム社会人7チームの計15チーム総協会員数約600名と大所帯となってきた。今後女子チームの育成も検討中。

〈現在の組織〉

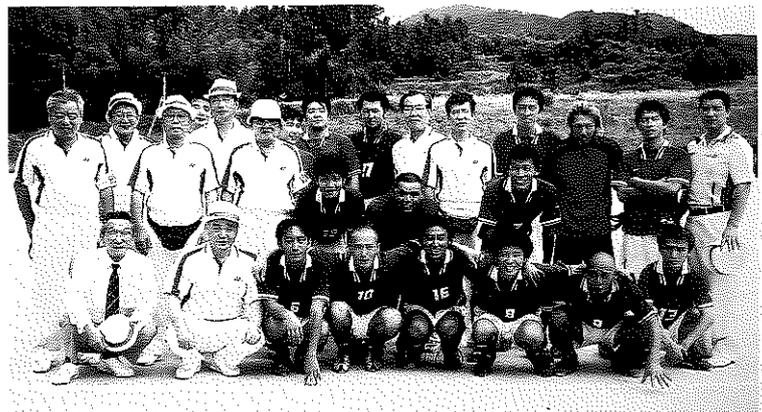
会 長	久 藤 豊 治	理 事 長	南 部 朋 弘	顧 問	菊 知 龍 雄	理 事	1 1	名
副 会 長	佐 竹 一 夫	副 理 事 長	東 茂 信	副 理 事 長	牧 野 政 昭	参 与	2	名
副 会 長	竹 浪 隆 一	事 務 局 長	川 端 亨	副 理 事 長	元 谷 修			
副 会 長	西 出 振	会 計	野 田 昌 利	常 任 理 事	1 0	名		

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ャ ム 名 (個人名)	成 績	備 考
平成4・5・9年8月	第44・45・49回県民体育大会	加 賀 市	準 優 勝	
平成8年10月	石川県スポーツ少年団交流大会	加賀FCジュニア(小学生)	優 勝	
平成8年11月	全日本少年フットサル 県大会	加賀FCジュニア(小学生)	優 勝	
平成9年1月	全日本少年フットサル 全国大会	加賀FCジュニア(小学生)	ベ ス ト 1 6	

その他の特記事項

平成12年4月22日加賀市サッカー協会総会において、久藤会長はじめ南部理事長の下、個々が楽しむサッカーから地域に根付いた、また地域に貢献するサッカーへと方針が打ち出された。



クレ-射撃

設立年月：昭和45年7月 加賀市クレ-射撃協会設立

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことば

加賀市クレ-射撃協会はクレ-射撃の普及、射撃技術の向上および会員相互の親睦を目的とし、銃砲所持に伴う社会的責任を十分自覚し、ルールマナーを守る事を念頭に努力しております。また、クレ-射撃はスポーツ競技(オリンピック正式種目)であるという理解と認識をされるように啓蒙していくと共に、今後とも射撃に関心のある若者たちを男女問わず、求めていきたいと思ひます。

■ 沿革(協会のおゆみ)

当協会は加賀市体育協会に加盟して以来、毎年、市民体育大会及び県民体育大会に参加し、常に上位入賞をはたし、特に団体総合優勝3回、準優勝4回と好成績を上げており、個人優勝者も多数出ております。設立以来、毎月、月例射撃大会を開催しており、これからも加賀市のスポーツ振興と活性化に協力して行きたいと思ひます。

〈現在の組織〉

会 長	向 出 勉	理 事 長	森 岡 宏一郎	協議委員長	児 玉 弘		
副 会 長	川 下 勉	副 理 事 長		普及委員長	藪 井 実		
顧 問	大 幸 甚	事務局長	辻 幸 雄	強化委員長	海 部 靖 彦		
		会 計	嶋 崎 喜代司				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
昭和59年8月	県 民 体 育 大 会	加賀市クレ-射撃協会	総 合 優 勝	加 賀 射 撃 場
昭和60年8月	県 民 体 育 大 会	加賀市クレ-射撃協会	総 合 優 勝	羽 咋 射 撃 場
昭和62年8月	県 民 体 育 大 会	加賀市クレ-射撃協会	総 合 優 勝	羽 咋 射 撃 場
昭和56年・平成6・7・10年	県 民 体 育 大 会	加賀市クレ-射撃協会	総 合 準 優 勝	

その他の特記事項

- S51.8 県民体育大会 辻 幸雄 山代温泉 個人優勝
スキ-ト種目 県体新記録(94点) S51~H2まで
- S55.8 県民体育大会 森岡宏一郎 片山津温泉 個人優勝
スキ-ト種目
- S58.8 県民体育大会 松田 英記 大聖寺 個人優勝
スキ-ト種目
- S59.8 県民体育大会 森岡宏一郎 片山津温泉 個人優勝
スキ-ト種目
- S62.8 県民体育大会 辻 幸雄 山代温泉 個人優勝
スキ-ト種目
- S63.8 県民体育大会 辻 幸雄 山代温泉 個人優勝
スキ-ト種目
- H元年.8 県民体育大会 辻 幸雄 山代温泉 個人優勝
スキ-ト種目 (3年連続)



山 岳

設立年月：平成5年4月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀市山岳協会は急増する中高年登山者の事故を防止するために、市内の登山愛好者を組織化することによって、連携を密にして、相互の情報交換、個々の技術の向上を図ってきました。今後も市民登山やグループ登山を通じて安全登山の啓蒙活動を継続していきます。

■ 沿革（協会のおゆみ）

昭和43年4月加賀山岳会設立

平成5年4月加賀ハイキングクラブ設立にともない

平成5年4月加賀市山岳協会を組織

〈現在の組織〉

会 長	小 村 龍 男	理 事 長	田 辺 弥寿雄			
副 会 長	西 村 俊 明	副 理 事 長	真 栄 隆 昭			
副 会 長		事 務 局 長	出 嶋 和 夫			
副 会 長		会 計	出 嶋 和 夫			

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成9年8月	県 体 (登 は ん)	向 出 照 子	2 位	
平成10年8月	県 体 (登 は ん)	向 出 照 子	1 位	
平成9年8月	県 体 (縦 走)	小 村 龍 男	3 位	
平成11年8月	県 体 (登 は ん)	真 栄 隆 昭	1 位	



空 手 道

設立年月：昭和50年4月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

体育協会設立40周年おめでとうございます。当所は同好の志が集い市内一円から練習生が集まり空手ブームもあいまって少年教室の開講で幅広く浸透する。近年は指導者不足と中学校での部の受け入れが無く、他のスポーツへの移行が大勢をしめており、今後は加賀地区内の高校に空手同好会を創設したいと考えている。

■ 沿革（協会のおゆみ）

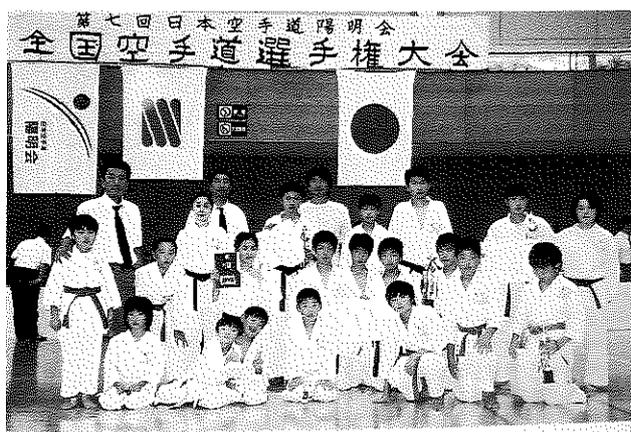
- S48年6月 黒瀬町青年クラブ旧舎にて練習を開始
- S50年4月 県加賀体育館練習開始
- S52年 体協加盟、市少年空手教室健誠館道場
- S54年 念願の武道館の完成、本格的に練習、各種大会に参加

〈現在の組織〉

会 長	北 川 勝 信	理 事 長	林 茂 信	指 導 員	坂 口 聖 次	指 導 員	谷 口 長 浩
副 会 長	但 馬 信 勝	副 理 事 長	川 西 邦 守	指 導 員	宮 西 宏 彰	指 導 員	本 谷 誠 志
副 会 長	松 平 泰 恵	事 務 局 長	林 晋 吾	指 導 員	坪 野 美 樹	指 導 員	森 下 智 末
副 会 長	加 納 隆 一	会 計	米 谷 長 一	指 導 員	宮 西 亮		

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
昭和53年~昭和63年	県民体育大会	加 賀 市	優 勝	1 1 連 勝
	長野国体全日本選手権	林 晋 吾	第 3 位	
平成 8 年	広 島 国 体	宮西 亮(軽量級)	優 勝	
平成 1 0 年	全日本学生空手道選手権大会	宮 西 亮	準 優 勝	



ボウリング

設立年月：昭和48年4月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

体育協会設立40周年おめでとうございます。

ボウリング協会としては、月2回の月例会の開催を行っています。ジュニア育成をめざし、H11年より親子ボウリング教室を開催しています。国民体育大会、全国大会等での上位入賞を目指しています。

■ 沿革（協会のあゆみ）

企業のクラブと社会人で設立しました。

トップクラスのボウラーが出ていない中で、練習会月例会を行い、上位入賞を目指し努力しています。（北信越大会では上位入賞をしています）

特に最近では、女子・ジュニアの育成を目指し頑張っています。

〈現在の組織〉

会 長	川 下 勉	理 事 長	前 坂 克 之	理 事	車 富記雄		
副 会 長		副 理 事 長	寺 田 耕 三		斉 藤 良 久		
副 会 長		事 務 局 長	高 橋 康 彦				
副 会 長		会 計					

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成11年9月	第54回国民体大会	大丸谷 香	成年女子5位	



トランポリン

設立年月：昭和55年5月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

本協会は昨年創立20周年を迎えました。協会員60名が市内12カ所で、小学生・知的障害者・親子のスポーツの素養づくりの教室・一般のレクリエーション教室、そして新たに宙返り系競技教室を設け、トランポリンの普及・指導に関わっています。今年、我が石川県からオリンピック出場を決めた種目でもあり、今後、市内の広い層への普及と共に、選手の競技力向上を目指していきたいと思っています。

■ 沿革（協会のおゆみ）

S52年一般対象のトランポリン教室が開設され、翌年よりクラブ結成S54年度より一般小学生教室を開講。S55年体協加盟、協会設立、S56年より県民体育大会に参加。S58年第1回加賀市小学生教室交歓大会を開催。H1年市協会10周年記念パーティー、H4年第1回シャトル競技大会、バドミントンを開催H11年市協会20周年記念式典。

〈現在の組織〉

会 長	矢田郷 昭 三	理 事 長	佐々木 由里恵	副競技委員長	奥 本 美穂子	会 計	山 沢 友 美
副 会 長	西 出 振	副理事長	上 出 康 子	副競技委員長	向 井 雪 子		
副 会 長	林 清 好	副理事長	大 井 妙 子	事務局長	小 橋 頼 子		
副 会 長		競技委員長	広 居 智恵美	会 計	柱 谷 艶 子		

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成11年11月	第16回石川県シンクロナイズド(低学年女子)トランポリン大会	蔵田 岬・吉田美幸	2 位	
平成11年11月	第16回石川県シンクロナイズド(一般男子)トランポリン大会	山 本 隆 善	2 位	
平成11年11月	第16回石川県シンクロナイズド(高学年女子)トランポリン大会	中村知江・佐々木美里	3 位	
平成11年8月	第16回石川県ジュニアトランポリン(低学年男子B)競技選手権大会	東 野 圭 佑	1 位	

その他の特記事項

夢はラージ台が設置されたトランポリン専用の練習場を持つことです。大人が子供がいつでも行ってとべる場をなんとか実現させたいです。



テニス

設立年月：昭和57年3月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

昭和57年、協会設立以来、当協会も20周年を迎えようとしています。その間関係各方面から多大なご助力をいただき各種大会・教室等の事業を精力的に開催し、テニス人口は年々増加してきましたが、選手強化の面では、若干成果が上がっていないのが現状です。施設面でも、中央公園テニスコートのナイター設備やコートの人工芝化など課題も残っております。これら施設の改善とともに、ジュニア世代から継続した選手強化、生涯スポーツとしてテニスの普及拡大に努力していきたいと思っております。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和57年3月 北川会長のもと市内8クラブチームの代表者が集い協会を設立

昭和61年5月 木村純子プロ（ゴーセン）を招きテニスクリニックを開催

昭和62年8月 加賀市中央公園にテニスコート（10面）が完成

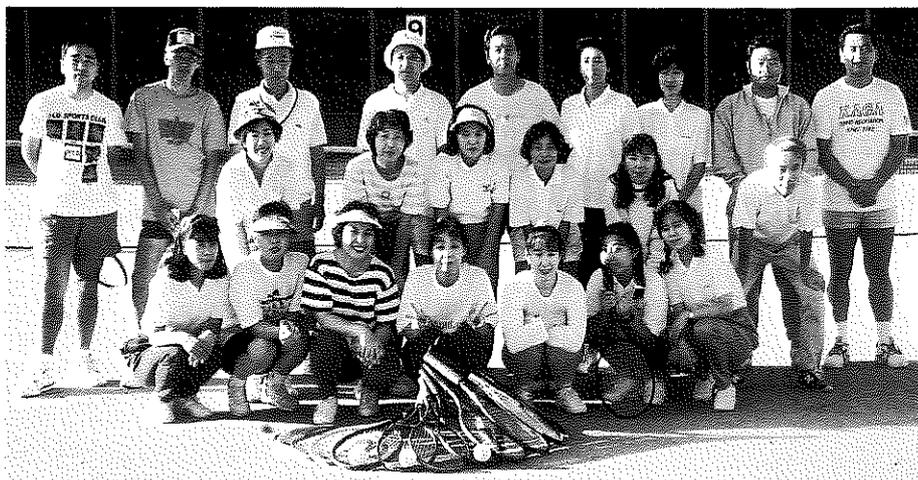
平成11年8月 神和住純氏（デビスカップ日本代表監督・石川県出身）を招きテニスクリニックを開催

〈現在の組織〉

会 長	北 川 信 夫	理 事 長	中 野 正 敏				
副 会 長	中 野 久 親	副 理 事 長	水 野 恵 二				
副 会 長		事 務 局 長	中 野 隆 司				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ー ム 名 (個 人 名)	成 績	備 考
昭 和 5 7 年	北信越ジュニアテニス大会	田中洋一(聖高)	シングル優勝	16歳以下の部
昭 和 6 3 年	北信越学生テニストーナメント	西出 泉(金大)	ダブルス優勝	聖高出身
平 成 元 年	北信越学生テニストーナメント	西出 泉(金大)	シングル・ダブルス優勝	
平 成 2 年	北信越学生テニストーナメント	西出 泉(金大)	シングル優勝	



スキー

設立年月：昭和45年10月

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことば

加賀市スキー協会は会員数74名・加盟クラブ2団体、その内全日本スキー連盟指導員16名で競技スキー並びに基礎スキーに取り組んで参りました。今後は県体における成績向上と市体の参加者を増やして行き基礎スキーに措いても級別テストや指導員検定に受験者を輩出して行きたいと考えています。

また、スノーボードに付きましても今後、導入を考え活動して行く方針です。

■ 沿革(協会のおゆみ)

昭和45年竹浪隆一氏を初代会長に迎え、100余名で発足し県スキー連盟にも加盟する。その後しばらく協会としての活動も中断するが、昭和56年敷地屋氏を会長に再建、以後吉田豊彦、久男氏と職を受け継いで現在に至っている。現在は17名の指導・準指導員を抱え、会員相互の技術の向上にはげんでいる。

〈現在の組織〉

会長	吉田久男	理事長	谷本栄一	副理事長	新井孝		
副会長	山田誠一郎	副理事長	伝吉朗				
副会長	小荒勝美	事務局長	越中谷法昭				
副会長		会計	川畑維雄				

〈過去における大会成績〉

年月	大会名	チーム名(個人名)	成績	備考
昭和55年2月	国民体育大会	吉田久男	16位	
平成2年1月	東海北陸スキー技術選手権大会	谷本栄一	18位	
昭和56年2月	中部日本スキー大会	吉田久男	優勝	
平成11年2月	県民体育大会	女子の部	総合3位	



銃 剣 道

設立年月：昭和60年4月

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことば

我が銃剣道協会は一般的に聞きおよびの少ないスポーツで、競技者大会したい少ない事から、今後は幅広く知っていただけるスポーツとなる様に活動していきたいと思っています。

■ 沿革(協会のあゆみ)

昭和60年に有志6名によって銃剣道協会が設立され、以後県体にも初出場し、又競技会が数少ないだけに、県外の大会などにも積極的に参加しております。

〈現在の組織〉

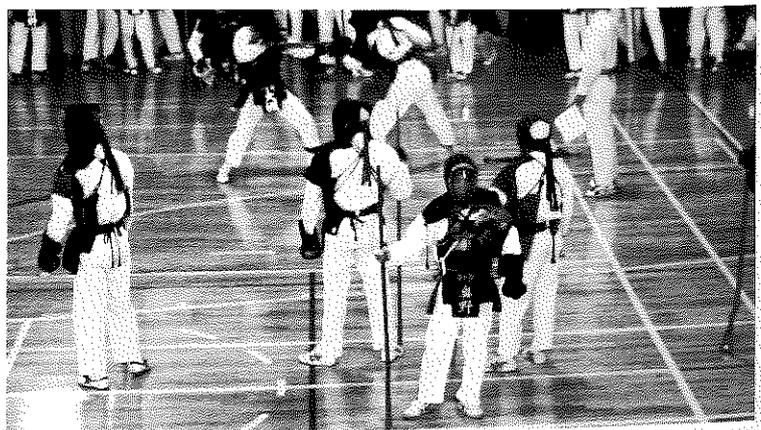
会 長	松 本 進	理 事 長					
副 会 長		副 理 事 長					
副 会 長		事 務 局 長	奥 野 幸 治				
副 会 長		副 会 長	奥 野 幸 治				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考

その他の特記事項

これまでも、広報紙などに銃剣道競技を紹介してもらいましたが、その後の反応が薄く会員を増やすまでにはいきませんでした。が、今後共、底辺拡大の為に紹介するチャンスを是非共、作っていただきたい。



少林寺拳法

設立年月：昭和60年2月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

設立40周年おめでとうございます。当協会も加盟させて頂き15年になります。その間、老若男女特に青少年や保護者の方々を中心に、生涯スポーツ、生涯学習（心の教育）の立場で微力ながら活動を展開してまいりました。今後共、市民の皆様に単なるスポーツや武道を超えた存在としてお役に立てますよう協会挙げてさらに邁進する所存であります。（理事長）

■ 沿革（協会のおゆみ）

- 1984年6月 大聖寺道場開設
- 1985年3月 協会設立
- 1990年8月 協会設立5周年事業開催
- 1994年6月 山代道場開設
- 1995年6月 動橋道場開設

〈現在の組織〉

会 長	川 下 勉	理 事 長	福 田 清 志			
副 会 長	北 出 健 一	副 理 事 長	梅 原 一 幸			
副 会 長		事 務 局 長	大 家 正 巳			
副 会 長		会 計	大 家 元 美			

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成11年・12年	少林寺拳法全国大会	大 家 元 美		一般女子三段以上の部
平成11年・12年	少林寺拳法全国大会	大 家 恵 美		一般女子三段以上の部
平成11年・12年	少林寺拳法全国大会	動橋支部団体(8名)	平成11年 優秀賞	小学生団体の部
平成12年	少林寺拳法全国大会	大聖寺支部団体12名		小学生団体の部



ゲートボール

設立年月：昭和58年4月2日
加賀市ゲートボール協会として設立

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

ニュースポーツとして発足したゲートボールですが、協会設立後16年の歩みの中で、今ではアジア大会に準優勝を勝ち取るチームが出るようになりました。これも会員の常日頃の練習の結果が実を結んだものと喜んで居ります。今後はアジア大会はもとより、世界大会に優秀な成績を残すよう努力したいと思っています。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和58年4月 加賀市ゲートボール協会として発足 会員数500名

昭和59年9月 石川県ゲートボール協会に加入

平成元年より新理事長制を設け会員の普及指導に務める

平成2年加賀市体育協会に加入 現在に至る。

〈現在の組織〉

会 長	久 藤 豊 治	理 事 長	平 野 博	副理事長	岩 村 眞		
副 会 長	中 田 正 睦	事務局長	中 谷 清	副理事長	丸 山 要		
副 会 長		会 計	村 田 藤 雄	副理事長	市 村 精 次		
副 会 長				副理事長	山 田 晃		

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成8年5月18日~19日	アジアゲートボール選手権大会	ゆのくにの森	準 優 勝	会場 北海道釧路市
平成10年11月3日~4日	ねんりんピック名古屋大会	加賀 G B C	敢 闘 賞	会場 愛知県蒲郡市
平成7年9月30日~10月3日	全国スポレク祭ゲートボール大会	加賀 G B C	ブロック優勝	会場 奈良県五条市
平成11年5月22日~23日	北信越ゲートボール選手権大会	加賀 G B C	敢 闘 賞	会場 福井県三国町



パワーリフティング

設立年月：昭和62年7月1日

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀市パワーリフティング協会は、これまでウェイトトレーニングを通して各種競技者のレベルアップ、一般の人たちの基礎体力の向上や健康増進に役立てる指導を行ってきました。今後も健康づくり、体力アップの指導と選手育成に力を入れて活動を行っていきます。

■ 沿革（協会のあゆみ）

昭和62年7月 1日 加賀市パワーリフティング協会 設立

平成 2年4月 1日 加賀市体育協会加盟

平成 5年4月24日 石川県体育協会加盟

〈現在の組織〉

会 長	宮 元 陸	理 事 長	松 田 裕	顧 問	大 幸 甚		
副 会 長		副 理 事 長	道 端 秀 二				
副 会 長		事 務 局 長	松 田 裕				
副 会 長		副 会 長					

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ー ム 名 (個 人 名)	成 績	備 考
平成元年10月	石川県選手権大会	谷 口 外 信	67.5kg級 優勝	
平成3年6月	"	浜 添 正 博	56kg級 優勝	
平成3年6月	"	山 本 将 光	90kg級 優勝	
平成5年7月	"	道 端 秀 二	56kg級 優勝	
平成12年8月	"	浜 添 博	75kg級 優勝	



ゴルフ

設立年月：平成2年7月22日

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀市体育協会設立40周年誠におめでとうございます。私共加賀市ゴルフ協会も体育協会に加盟させて頂き40年になります。年々会員も増加し、12年度は200名前後の会員を予定いたしております。

又、協会活動も加賀市民ゴルフ大会と加賀市民ふれあいゴルフ大会等を計画し、今後も会員同志の親睦を図り楽しい協会として運営していきたいと思っています。

■ 沿革（協会のあゆみ）

平成2年9月 石川県ゴルフ協会 加盟

平成2年11月25日 第1回石川県民ゴルフ大会 選手派遣 2チーム

平成3年7月2日 加賀市民ゴルフ大会第1回実施、於山代山中ゴルフ場 参加者115名

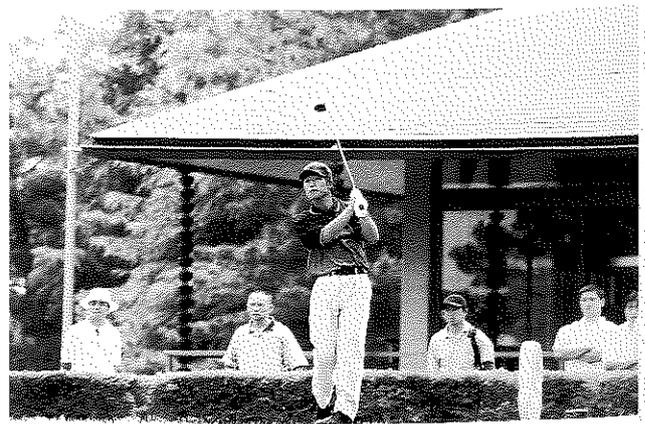
平成11年8月2日第1回加賀市民ふれあいゴルフ実施、於加賀セントラル倶楽部参加者80名

〈現在の組織〉

会 長	吉 田 博 示	理 事 長	岸 省 三	事務局長	作 見 勝 康		
副 会 長	打 本 弘 喜	副 理 事 長	増 田 和 夫	副 理 事 長	片 山 孝 徳		
副 会 長	西 清	〃	長 岡 憲 造	副 理 事 長	江 島 良 一		
副 会 長		会 計					

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ ー ム 名 (個 人 名)	成 績	備 考
平成2.11.28	第1回石川県民対抗ゴルフ競技	加賀Aチーム	3 位	片山津 G . C
平成5.8.4	第45回石川県民体育大会ゴルフ競技	加賀チーム	2 位	加賀芙蓉 C . C
平成7.10.11	第6回 〃	〃	3 位	能登 C . C
平成9.8.4	第49回 〃	〃	2 位	和倉ゴルフ倶楽部



グラウンドゴルフ

設立年月：昭和63年4月
(平成6年4月市体協加盟)

協会(連盟)

■ 会長(理事長)のことば

いつでも、どこでも、だれでも出来るグラウンドゴルフであるが、ゲートボール同様高齢者向きのスポーツのイメージがあって、気力、体力の充実した若年層の参加が他の市町村に比べ皆無に等しく、県体等で好成績の望めないのが残念であるが、市民の体力づくり、集中力、協調性の向上策として、今後もグラウンドゴルフの普及に務めたい。

■ 沿革(協会のおゆみ)

鳥取県の泊村で、昭57年生涯スポーツとして開発されたグラウンドゴルフは全国に普及したことから加賀市内でも、昭和63年4月に向出県議を会長に、当初は三木、片山津温泉、動橋地区の愛好者20名程度で、加賀市グラウンドゴルフ協会を設立し春秋2回の会長杯大会を開催したことから、徐々に会員が増加し県体時には登録会員200余名になった。

〈現在の組織〉

会長	向出勉	理事長	吉江外代夫	事務局長	宮腰勇		
副会長	村井幸栄	副理事長	加賀正矩	会計	大下進		
副会長	西出清次	事務局長	黒川俊雄				
副会長	坂野行平	副会長	斉藤作右江門				

〈過去における大会成績〉

年月	大会名	チーム名(個人名)	成績	備考
平成5年8月	第49回県体育大会	男子チーム・女子チーム	優勝・3位	打数 3 5 4
平成10年8月	第50回県体育大会	男子チーム・女子チーム	準優勝・3位	打数 4 1 1
平成11年8月	第51回県体育大会	男子チーム・女子チーム	優勝・3位	打数 3 6 3
平成11年8月	第51回県体育大会	大島成造	優勝	打数 5 5

その他の特記事項

グラウンドゴルフは、市内全域に普及し、小学生を交えた「老人と子供のふれあいグラウンドゴルフ大会」をはじめ、市老連や消防団、労働金庫、JA加賀、等の団体にあっても、年1回程度の大会を開催し、生涯スポーツの推進事業の一環として取り組んでいる。



太極拳

設立年月：平成7年4月1日

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀市体育協会の設立40周年を迎えられ、スポーツに携わる者の一員として、皆さんと共に喜びあいたいと存じます。太極拳協会も体協加盟5年目を迎え、会員数も120名となり、数だけはどうにか他団体と肩を並べられるようになりました。今後は指導者の増強と会員の技術の向上に努めると共に、広く市民の健康増進に一翼を担いたいと思う所存です。

■ 沿革（協会のおゆみ）

平成6年 数名の太極拳愛好者により活動を開始する。

平成7年4月 加賀市太極拳協会を設立。会員数28名。

平成8年4月 加賀市体育協会加盟。（加盟協会29番目）会員数35名。

平成9年度より市体、県体、及び対外競技大会に参加。現在に至る。会員数120名。

〈現在の組織〉

会長	久藤 妙子	理事長	中林 都	常任理事(事業)	塚本 充子		
副会長	菅 沼 勇	副理事長	西出 澄江	常任理事(会計)	田崎 ちい子		
副会長	土山 正信	事務局長	中園 久美				
副会長		会計					

〈過去における大会成績〉

年月	大会名	チーム名(個人名)	成績	備考
平成10年3月16日	石川県武術太極拳競技大会	市協会合同クラブ	集団の部 1位	打数 3 5 4
平成10年8月9日	石川県民体育大会	中林都・田崎ちい子・塚本充子	初級太極拳女子団体2位	打数 4 1 1
平成11年10月31日	石川県武術太極拳競技大会	中林 都	種目女子24式太極拳A 1位	打数 3 6 3
〃	〃	小嶋 清勝	種目男子 〃 2位	打数 5 5

その他の特記事項

市体、県体、競技会の他に、活動内容として「ゆうゆうスポーツ文化交流」「スポーツ・レクリエーション祭」「太極拳交流会」等に参加し、他市町村との交流を図ると共に、親睦を深め、技術の向上に努めている。



綱 引

設立年月：平成2年7月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

40周年を迎え心よりお祝い申し上げます。

7万加賀市民の健康で豊かな生活づくりの一翼を担う一員として当協会の重大さを痛感し会員一同一致団結し、スポーツの振興と技術の向上に努力していききたいと思います。

■ 沿革（協会のあゆみ）

2年7月に加賀市綱引協会を設立。会長に現市長、大幸甚氏が就任しチーム数 男子5女子4 会員数110名が登録。平成9年加賀市体育協会に加入。以後、県民体育大会で男女とも大活躍。

〈現在の組織〉

会 長	宮 元 陸	理 事 長	田 中 政 栄				
副 会 長	荒 川 邦 夫	副 理 事 長	藤 堂 他 佳 弘	副 理 事 長	南 口 外 茂 行		
副 会 長	中 川 健 治	事 務 局 長	永 井 清 次	事 務 局	庄 地 区 会 館 内 上 出 加 代 子		
副 会 長		会 計	高 田 明 子				

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成11年8月	県 民 体 育 大 会	女子・市選抜社員 男子・我武者羅	男 女 優 勝	
平成11年10月	全国スポレク県代表	舟見綱引隊		
平成12年3月	全日本綱引選手権大会	女子パープルレイン	ベスト16	
〃	〃	男子 我武者羅		予選会から本選出場

その他の特記事項

ジュニアの部では平成11年8月全日本ジュニア綱引選手権大会で庄Jr. T. Cが3位入賞しています。本年度も出場予定しています。



なぎなた

設立年月：平成9年4月

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀市体育協会設立40周年おめでとうございます。加賀なぎなた連盟も、同好の志が集まりましてからはや4年を迎えようとしております。練習や集いが部員一人一人の財産となり、仕事や家庭以外の豊かな世界の広がりとなっております。更に、これからも、心の財産を増やすだけでなく、健康増進の為、武芸の研鑽にも精進したいと部員一同張り切っております。

■ 沿革（協会のあゆみ）

平成9年4月有志10名が加賀なぎなたクラブ結成

平成10年4月県なぎなた連盟へ加盟

平成11年4月加賀市体育協会に入会、6月市体開催（第1回）

平成9年～11年県体へ参加

〈現在の組織〉

会長	田端かず子	理事長	北村谷キヨミ			
副会長	桂谷艶子	副理事長	鹿野優子			
副会長		事務局長	和田恭子			
副会長		会計	辻内百合子			

〈過去における大会成績〉

年月	大会名	チーム名(個人名)	成績	備考
平成10年8月	第50回石川県民体育大会	北村谷キヨミ・酒谷きよめ	第4位	演技競技個人戦
平成11年8月	第51回石川県民体育大会	北村谷キヨミ・滝野喜代美	第3位	〃



トライアスロン

設立年月：平成7年

協会（連盟）

■ 会長（理事長）のことば

加賀トライアスロン協会は、加賀海岸トライアスロン大会を通して、一般の人々にみていただき、競技の普及に努めてきました。まだ新しい会でございますので、競技力のアップ、選手育成に力を入れることはもちろんですが、もっともっと競技人口の輪を広めて行きたいと考えております。

■ 沿革（協会のあゆみ）

平成7年4月1日 加賀トライアスロンクラブ設立

平成10年4月1日 加賀市体育協会加盟

〈現在の組織〉

会 長	小 塩 作 馬	理 事 長	常 川 三 郎	副理事長	木 戸 浦 信 隆		
副 会 長	山 尾 武 次	副理事長	井 家 熙	副理事長	林 昌 則		
副 会 長	山 岸 貢	事務局長	北 河 齊	会 計	吉 野 健 治		

〈過去における大会成績〉

年 月	大 会 名	チ-ム名(個人名)	成 績	備 考
平成10年6月	越後七浦トライアスロン大会	常 川 英 介	男 子 2 位	
平成10年8月	珠洲トライアスロン大会	常 川 英 介	男 子 2 位	
平成10年9月	全日本鉄人レース	常 川 英 介	男 子 1 位	
平成11年6月27日	若狭路トライアスロン大会	常 川 英 介	男 子 2 位	

